

株式会社 類設計室 × 森庄銘木産業 株式会社共同主催イベント

『共創シンポジウム～森を育み、活かす、これからの木造建築～』を 12 月 5 日（金）に開催します

株式会社類設計室（本社：大阪市淀川区、社長：阿部紘）は、12 月 5 日（金）に設計業界の木造に携わる方々との、世代と枠を超えた繋がりを目指して、「共創シンポジウム～森を育み、活かす、これからの木造建築～」を東京本社 共創拠点「Root（ルート）」にて開催いたします。

共創シンポジウム 株式会社類設計室 × 森庄銘木産業株式会社

森を育み、活かす、 これからの木造建築

2025 12.5 FRI 16:00-18:30

株式会社類設計室が所有する奈良の山を活用した自社施設「VUTAI」と、全国で3例目となる木造3階建て1時間準耐火構造の学校建築である「松田町立松田小学校」をテーマに、森をどのように育成し、活用し、建築へと昇華させたのかを、実践事例に基づき本音で議論いたします。森と設計が共創する現代において、林業家と設計者が今後の木造建築について考察いたします。

共創シンポジウムの概要

日 時：2025 年 12 月 5 日（金）16：00～18：30（18：45～交流サロン）

定 員：対面 80 名 / WEB 定員なし

参加費：無料（交流サロン参加者は参加費 2,000 円）

場 所：類設計室 東京本社 6F「Root」（JR 京浜東北線 蒲田駅から徒歩 3 分）

申 込：<https://forms.gle/wR2ASPYjMhmY1JnM8>

※対面の定員数を超えた場合は、抽選とします。



●お問い合わせ 株式会社類設計室 経営統括部 広報人材課

TEL：06-6305-2222 E-MAIL：kouhou@rui.ne.jp <https://www.rui.ne.jp/>

内容の一例

『第一部 奈良の山を育み、共創から生まれる自産自消の木造建築』

(株式会社 類設計室 設計事業部×森庄銘木産業 株式会社)

- ・類設計室が所有する山を活用した木造建築の実現
- ・林業と考える「木を使う」本当の課題

『第二部 中大規模木造の木材活用の知恵』

(株式会社 類設計室 設計事業部×ナイス株式会社×株式会社中東)

- ・木造学校のスタンダードモデルを目指した標準化設計
- ・木材調達と活用における課題と展望

ご参加される登壇者のみなさま

杉本洋文 | 株式会社 計画・環境建築 代表取締役会長

森本達郎 | 森庄銘木産業 株式会社取締役専務

前田 力 | ナイス 株式会社理事、日本 WOOD, ALC 協会理事

宮越久志 | 株式会社 中東専務取締役

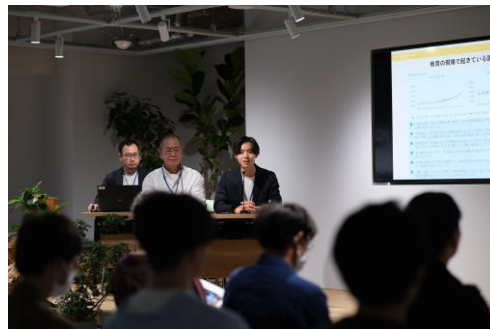
(弊社から)

多田 奨 | 株式会社 類設計室設計事業部監理部課長

小林有吾 | 株式会社 類設計室設計事業部ディレクター、農園事業部事業部長

前回実施した共創シンポジウムの概要

共創シンポジウムでは、「なぜ共創なのか」、「共創拠点 Root」にかけた想いを冒頭に、3つのトピックで議論を実施。トピックは、類設計室の設計事業部・教育事業部から「教育の現場から考える新たな学びの場」、「木の心地よさと光との関係性を紐解く」、「地域木材利用を活性化する木構造の実証実験」を、来場者も含め闊達な議論が繰り広げられました。



前回の
イベントレポート



昨年の共創シンポジウムの様子（左右いずれも）

●お問い合わせ 株式会社類設計室 経営統括部 広報人材課

TEL : 06-6305-2222 [E-MAIL : kouhou@rui.ne.jp](mailto:kouhou@rui.ne.jp) <https://www.rui.ne.jp/>